

青年部活動の歴史



2003年

5代目会長

澤井 篤 司

『地域オピニオンリーダーの地位を確立、次は北海道のトップ集団に。』

スローガン：不楽本座（本座を楽しまず）。現状に止まらず、さらに高いステージを目指そう。

第5代会長に澤井 篤司氏が就任し、江戸 雅夫特別理事を道青連会長に推薦することを表明。5月、留萌で初めての道青連総会、全道会長会議を開催した。昨年の北海道大会成功に続き、留萌YEGは文字通り北海道の頂点の位置を担うことになった。

単会において同氏は「疾風に勁草を知る。これから我々に求められている若手経済人像是、正しい時代認識と地域認識、そして実力に裏打ちされた存在感、信望そして建設的提言である」と説く。同氏が中心的メンバーになり策定された留萌市都市計画マスタープラン説明会、市議会議員との市政意見交換会を通し、留萌YEGが地域の重要な意見団体であることを内外に示した。

一方、会員相互研修として、昆氏、安達氏、西川氏を例会講師とし、他業界の知識、自企業発展への積極的な取り組み姿勢を学んだ。また、青年部網領にもある国際人に不可欠な自国文化認識を深めるため、澤田 知明委員長が歌舞伎音楽で国内第一人者である杵屋佐之忠氏を招き、一般公開歌舞伎講座を開催。古来日本文化の真髄を学んだ。

留萌YEGが提言団体としての位置を磐石にするなか、他団体からの講演依頼が要請される様になる。「留萌経済の今後の課題と対策」を澤井 会長が留萌ライオンズクラブ例会で講演。市政懇話会での青年部意見提言、留萌新聞に「市の財政難に乾坤一擲の巻き返しを」と題した提言を発表し、若手オピニオンリーダーたる青年部の位置づけを内外に明確に示した。また地域貢献事業として、澤田 事業委員長が元宝塚歌劇団による市民コンサートを企画。市民約750人が来場する活況あるコンサートを実現させ、広く一般に留萌YEGの存在を示した。

【役員】

会 長	澤井 篤司
副 会 長	昆 多利・宮尾幸之助
専 務 担 当	鉢呂 良一
理 事	佐々木博史・澤田 知明 長内 敬憲・久保田慎太郎 武田 佳彦・森本 隆志
監 事	林 文男・松本 衆司
特別理事	江戸 雅夫・村上 直揮
相 談 役	鈴木 康伸・鶴城 善輝
事業委員長	澤田 知明
事業副委員長	武田 佳彦
総務委員長	佐々木博史
総務副委員長	久保田慎太郎
広報委員長	長内 敬憲
広報副委員長	森本 隆志

【活動記録】

- 04月／第13回通常会員総会
- 05月／道青連総会、全道会長会議開催
- 05月／留萌都市マスタープラン研修会
- 06月／PCメール活用研修会
- 07月／「市政意見交換会」
- 08月／留萌呑涛まつり参加
- 08月／夕日鑑賞会家族会（黄金岬）
- 08月／「会員講師研修会Ⅰ」
- 09月／北海道ブロック大会参加（北見市）
- 11月・12月／「HP作成研修会①～⑧」
- 11月／忘年会
- 12月／ライオンズクラブ例会講話
澤井会長 演題「留萌経済と今後の留萌YEG」
- 12月／留萌市立図書館に5万円分の児童図書寄贈
- 12月／「お星様クリスマスコンサート」元宝塚歌劇団開催
- 02月／法人会青年部との合同新年会
- 02月／「会員講師研修会Ⅱ」
- 02月／日刊留萌新聞寄稿 澤井会長提言
- 02月／第8回三市町青年部交流会
- 03月／歌舞伎音楽入門講座（一般公開）
- 03月／組織活動事例報告会（文化センター）
- 03月／卒業祝賀会
- 03月／「OB懇話会①」初代会長 堀口 亘氏

